

科目名	人間関係の指導法				担当	関 裕子		
形態	演習	単位数	1	開講時期	2年前期	実務経験	幼稚園教諭・保育士経験有	
必修	幼免:必修 保育士:必修				ナンバリング	Y3104	DPとの関連	3
授業概要	<p>保育所保育指針及び幼稚園教育要領等に示された領域「人間関係」のねらいおよび内容について、乳幼児の姿と保育実践とを関連させて理解を深める。その上で、乳幼児期の発達にふさわしい主体的・対話的で深い学びが実現する保育を具体的に構想し、実践する方法を身に付ける。また、模擬保育やロールプレイとその振り返りを通して、保育を改善する視点を持つ。</p>							
到達目標 学習成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所保育指針及び幼稚園教育要領等に基づき、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解する 2. 乳幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「人間関係」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想し、実践的に理解する 							
授業計画	回	内容						
	1	領域「人間関係」とは	ガイダンス:現代社会における領域「人間関係」の意義					
	2	自己理解と自己概念	主体性とは何か					
	3	生態学的「人間関係」	ヒトが人としてつながり育つということ					
	4	発達と人間関係①	子どもとの信頼関係・愛着形成の築き					
	5	発達と人間関係②	子ども同士の育ち合い					
	6	発達と人間関係③	葛藤・いざこざと援助					
	7	発達と人間関係④	多様な子ども理解と関わり					
	8	保育と発達を結ぶ①	個と集団の育ちのプロセス「導かれた参加」 活動計画					
	9	保育と発達を結ぶ②	協同的な遊びを通して長期的な保育の展開を考える 指導案作成					
	10	保育と発達を結ぶ③	協同的な遊びを通して長期的な保育の展開を考える 模擬保育					
	11	保護者との人間関係	親心、親力を育む共感者としての保育					
	12	保育者との人間関係	互いに支え合い高め合う同僚性					
	13	保育と就学後教育	学びと発達をつなぐ幼小連携・接続とは					
	14	地域の人との人間関係	地域の知的財産をつなぐ保育の役割					
15	保育の価値と可能性	子育ての環は社会総がかり						
評価基準	<ol style="list-style-type: none"> ①乳幼児期における人間関係の発達過程や関係性を理解し、自分の言葉で表現できるか ②領域「人間関係」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想できるか 							
評価方法	各回のリアクションペーパー (70%)、最終レポート (30%)							
フィードバック 方法	各回提出のリアクションペーパーに対して、翌週の授業内容で解説をする							
アクティブ ラーニング	模擬保育やロールプレイ、グループワークを多用し、状況に応じて ICT) を活用する							
教科書	『保育的発達論のはじまり 一個人を尊重しつつ、「つながり」を育むいとなみへー』川田学、ひとなる書房, 2019年							
参考書	適宜参考資料を配布する。 『保育所保育指針解説』『幼稚園教育要領解説』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 厚生労働省・文部科学省・内閣府 2017年							
履修条件	本授業に関する基礎的知識を有すること (保育原理、発達心理学)。							
授業外学習	マスコミ等で取り上げられた子育て・保育に関する内容を毎週記録する。日頃から報道を意識して「保育」「子育て」等をキーワードにネット検索するなど、アンテナを立ててみること。							
オフィスアワー	適宜伝える							